

令和 5 年 5 月 1 0 日

洞爺湖町議会令和 5 年 5 月会議
教 育 長 行 政 報 告

番 号 件 名

- 1 寄附について
- 2 (仮称) あぶた保育所複合化施設説明会等の開催について
- 3 これからの高校づくりに関する指針の改定について
- 4 「TOYAKO 縄文ガイドの会」設立総会の開催について
- 5 各種事務事業の取組状況について

1 寄附について

このたび、次の方より寄附の申出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

(1) 金員の寄附

バスケットボールクラブTKC 代表 今 野 満寿喜 氏
金 額 20,000円（洞爺中学校の運営費として）

(2) 物品の寄附

匿 名 こいのぼり一式（新品）

2 （仮称）あぶた保育所複合化施設説明会等の開催について

去る3月22日（水）、洞爺湖町役場防災研修ホールを会場に、全町民を対象に本町保育所と入江保育所の統合複合化に向けた説明会を開催いたしました。

説明会には、18名の参加があり教育委員会からの複合化の必要性や複合化したほうが良い施設の例、建設に当たり現在の地域交流センターを解体する必要があるなどの説明を行った後、意見交換を行いました。

また、4月12日（水）、13日（木）、18日（火）及び19日（水）には、各保育所で開催される保護者総会の場にて、同様の意見交換を行っており、56名の参加がありました。

今後につきましては、さまざまな機会を利用し保護者や保育士、地域などと意見交換を行い、利用しやすい施設の建設に向け取り組んでいくこととしております。

3 これからの高校づくりに関する指針の改定について

令和5年3月、北海道教育委員会はこれからの高校づくりに関する指針を改定し、これからの高校づくりに当たっての基本的な考え方と具体的な施策が示されました。

内容に当たっては、地域とつながった高校づくりとして、コミュニティ・スクールの導入や遠隔授業配信センター（T-base）の充実などが示されたほか、令和8年度以降の公立高等学校配置計画の基本的な考え方が示され、虻田高校を含む地域連携校は、第1学年の在籍者数が20人未満となっても、北海道教育委員会が所在市町村をはじめとした地域と連携し、高校の魅力化や入学

者確保に取り組む集中取組期間を設けて、その間は再編整備を留保することが示されたところであります。

4 「TOYAKO 縄文ガイドの会」設立総会の開催について

世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である入江・高砂貝塚の魅力や価値を伝える「TOYAKO 縄文ガイドの会」の設立総会が3月26日に開催されました。

昨年から団体等へのガイドを担っていただいた町内外の会員11名が中心となり、4月29日から毎週土曜日を「ガイドの日」と定めて、団体や個人の来訪者への解説を行っていく予定です。

5 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告いたします。

- (1) 「JOMON 世界遺産講座 & JOMON 体験事業 in 洞爺」の開催について世界文化遺産に登録された入江・高砂貝塚の価値や魅力を知ってもらうため、3月25日に洞爺総合センターにおいて、アプタ・フレナイの会との共催により、開催いたしました。

会場では、世界遺産に関する講座や勾玉づくり体験やホタテガイを使った神経衰弱のほか、縄文土器の展示コーナーなどを設置し、約40名の方々の来場をいただき、縄文時代について楽しみながら学んでいました。